



## 2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社総医研ホールディングス  
コード番号 2385 URL <http://www.soiken.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石神 賢太郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 奥野 貴人

TEL 06-6871-8888

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,840	32.8	455		449		487	
2023年6月期第2四半期	4,223	18.0	344	41.0	345	45.1	209	49.6

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 488百万円 ( %) 2023年6月期第2四半期 213百万円 ( 49.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	18.65	
2023年6月期第2四半期	8.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,126	6,423	89.9
2023年6月期	8,239	7,172	84.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 6,407百万円 2023年6月期 6,968百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		5.00	5.00
2024年6月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,740	29.0	400		400		440		16.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年2月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	26,158,200 株	2023年6月期	26,158,200 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	0 株	2023年6月期	0 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	26,158,200 株	2023年6月期2Q	26,158,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、経済活動は正常化に向かい、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、原材料価格やエネルギー価格高騰や物価の上昇等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

我が国では、社会の高齢化を背景として医療費の増加が続く中、医療の効率的運営や予防医療の推進が必須の課題となっています。このような状況下、医療の適正かつ効率的な運用を目指す「EBM」(Evidence Based Medicine＝科学的根拠に基づく医療)の気運が高まっているほか、国策としても、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導の導入、全ての健康保険組合等における「データヘルス計画」(レセプト等のデータ分析に基づいた保健事業)の策定及び実施の義務付け等が行われています。また、食品等の機能性表示の規制が緩和され、企業責任によりエビデンス(科学的根拠)をもとに食品等に機能性を表示できる機能性表示食品制度が施行される等、当社グループの事業への追い風となり得る環境の変化が生じています。

このような状況下、当社グループでは、大学発のバイオマーカー技術に基づくエビデンスの構築と活用に関する実績やノウハウ、医学界や医療界における幅広いネットワーク等を活かし、医薬、食品、化粧品、ヘルスケア関連サービス等の様々な領域において、社会のニーズに対応した商品やサービスを開発して提供することにより、事業の拡大を図ってまいりたい方針であります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (生体評価システム)

生体評価システム事業のうち評価試験事業におきましては、主に被験者バンクからの被験者リクルート手数料や食品の有効性及び安全性に関する臨床評価試験の受託手数料等65百万円(前年同期比39.1%減)の売上計上を行いました。また、受注状況につきましては、受注高218百万円(前年同期比71.9%増)、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は193百万円(前年同期末比28.4%増)となりました。

生体評価システム事業のうち医薬臨床研究支援事業におきましては、主に糖尿病領域の医師主導型臨床研究の支援業務の受託手数料等110百万円(前年同期比27.1%減)の売上計上を行いました。また、受注状況につきましては、受注高63百万円(前年同期比12.4%減)、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は42百万円(前年同期末比73.3%減)となりました。

これらの結果、生体評価システム事業の業績は、売上高175百万円(前年同期比32.1%減)、営業利益1百万円(前年同期比95.8%減)となりました。

#### (ヘルスケアサポート)

ヘルスケアサポート事業は、特定保健指導の受託を中心として、企業における社員の健康管理・増進のニーズや個人の健康意識の高まり等に関連した様々なサービスを健康保険組合等に提供する事業であり、生活習慣病の専門医から成る組織である一般社団法人専門医ヘルスケアネットワークと共同で事業展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、特定保健指導、被扶養者を対象とした特定健康診査のサポート、糖尿病の重症化予防サービス、レセプト解析の受託手数料等337百万円(前年同期比7.3%増)の売上計上を行いました。

また、受注状況につきましては、受注高337百万円(前年同期比7.3%増)、当第2四半期連結会計期間末の受注残高はありませんでした(前年同期末はなし)。なお、この事業の受注高は、主に特定保健指導の実績等に応じて事後的に決まるものでありますので、契約締結時点ではなく、当該実績等が確定した時点で計上しております。

この結果、ヘルスケアサポート事業の業績は、売上高337百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益42百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

#### (化粧品)

化粧品事業におきましては、通信販売部門の売上高は、広告施策等により挺入れを図ったものの販売の減少傾向が続き、67百万円(前年同期比5.9%減)となりました。一方、卸売部門の売上高は、中国市場向け商品の販売が、福島第一原発処理水の海洋放出を発端とする日本製品の不買運動激化の影響や、現地国内メーカーの台頭による競争激化の影響等を受け大幅に減少し、711百万円(前年同期比62.3%減)となりました。

この結果、化粧品事業の業績は、売上高778百万円(前年同期比60.3%減)、営業損失72百万円(前年同期は398百万円の営業利益)となりました。

#### (健康補助食品)

健康補助食品事業におきましては、2009年3月より、「疲労定量化及び抗疲労食薬開発プロジェクト」から生まれた製品である「イミダペプチド」を販売しており、主力の飲料のほか、ソフトカプセル、錠剤等の多種多様な商品ラインナップを有しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、例年と同様、疲労回復のニーズが高く、広告出稿に対する反応が良好である夏場に合わせて集中的に広告宣伝費を投下し、販売の一層の拡大を図りました。これにより新規顧客の獲得数は前年同期を上回りましたが、広告料の高騰等により広告効率が悪化したこと等から販売量が減少したこと、原材料価格の高騰による売上原価の増加等の影響により、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、健康補助食品事業の業績は、売上高1,390百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失は269百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

（機能性素材開発）

機能性素材開発事業におきましては、ラクトフェリンをはじめとする機能性素材の開発及び販売等を行っており、ラクトフェリン原料の販売、ラクトフェリン等を配合した健康補助食品のOEM供給等による売上を計上しております。

当第2四半期連結累計期間においては、ラクトフェリン等を配合したサブリの販売が好調な一方で、原料の販売数量が伸び悩んだこと等から、売上高が減少しました。

この結果、機能性素材開発事業の業績は、売上高156百万円（前年同期比43.3%減）、営業損失は0百万円（前年同期は42百万円の営業利益）となりました。

これらに加えまして、セグメント間取引の消去や全社費用による営業損失は156百万円（前年同期は155百万円の営業損失）となりましたので、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は2,840百万円（前年同期比32.8%減）、連結営業損失は455百万円（前年同期は344百万円の営業利益）、連結経常損失は449百万円（前年同期は345百万円の経常利益）、税金等調整前四半期純損失は449百万円（前年同期は345百万円の税金等調整前四半期純利益）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は487百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益209百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,113百万円減少（13.5%減）し、7,126百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が389百万円増加したものの、現金及び預金が1,237百万円、商品が268百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて365百万円減少（34.2%減）し、702百万円となりました。これは主に、買掛金が279百万円、未払法人税等が37百万円、その他流動負債が30百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて748百万円減少（10.4%減）し、6,423百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を487百万円計上したことや、配当金の支払により利益剰余金が130百万円減少したこと等によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,237百万円減少し、4,708百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、966百万円（前年同期は327百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失449百万円の計上、売上債権の増加額389百万円、仕入債務の減少額279百万円等によるものであります。棚卸資産の減少額203百万円等により一部相殺されております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9百万円（前年同期は27百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出6百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、260百万円（前年同期は129百万円の使用）となりました。これは配当金の支払額131百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出129百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上高につきましては、化粧品事業において、中国市場向け商品の販売に関して、中国における景況感の悪化や福島第一原発処理水の海洋放出を発端とする日本製品の買い控えの影響等から計画対比で大幅な未達となる見込であることを主因として、前回予想数値を下回る見通しとなりました。連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する連結当期純利益につきましては、連結売上高の計画未達及び健康補助食品事業の原料高騰に伴う利益率の低下及び広告宣伝費の投下による販売費及び一般管理費の増加を主因として、いずれも前回予想数値を下回る見通しとなりました。上記の業績動向等を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2024年2月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,945,854	4,708,650
受取手形、売掛金及び契約資産	414,621	804,006
商品	815,853	547,836
仕掛品	161,009	152,992
原材料及び貯蔵品	319,243	392,082
その他	312,650	289,124
貸倒引当金	△35	△4
流動資産合計	7,969,196	6,894,688
固定資産		
有形固定資産	52,041	51,559
無形固定資産		
その他	46,586	43,711
無形固定資産合計	46,586	43,711
投資その他の資産		
投資有価証券	20,738	20,738
その他	151,419	115,373
投資その他の資産合計	172,157	136,112
固定資産合計	270,785	231,382
資産合計	8,239,982	7,126,071
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	407,707	128,460
未払法人税等	43,869	6,475
契約負債	307,374	296,002
受注損失引当金	27,207	22,134
その他	262,880	232,156
流動負債合計	1,049,039	685,229
固定負債		
退職給付に係る負債	18,725	17,209
固定負債合計	18,725	17,209
負債合計	1,067,764	702,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,836,587	1,836,587
資本剰余金	1,899,955	1,956,966
利益剰余金	3,232,312	2,613,634
株主資本合計	6,968,855	6,407,188
非支配株主持分	203,362	16,444
純資産合計	7,172,217	6,423,632
負債純資産合計	8,239,982	7,126,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,223,839	2,840,385
売上原価	2,200,652	1,461,504
売上総利益	2,023,187	1,378,880
販売費及び一般管理費	1,678,663	1,833,966
営業利益又は営業損失(△)	344,523	△455,085
営業外収益		
受取利息	183	31
受取賠償金	216	3,719
その他	993	3,010
営業外収益合計	1,393	6,760
営業外費用		
その他	566	965
営業外費用合計	566	965
経常利益又は経常損失(△)	345,351	△449,290
特別損失		
固定資産除却損	61	—
固定資産売却損	—	134
特別損失合計	61	134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	345,289	△449,425
法人税、住民税及び事業税	107,527	3,871
法人税等調整額	24,456	35,235
法人税等合計	131,984	39,106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	213,305	△488,531
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,100	△645
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	209,204	△487,886



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	213,305	△488,531
四半期包括利益	213,305	△488,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,204	△487,886
非支配株主に係る四半期包括利益	4,100	△645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	345,289	△449,425
減価償却費	9,213	12,925
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,180	△31
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△5,072
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	775	△1,515
受取利息	△183	△31
受取賠償金	△216	△3,719
固定資産除却損	61	—
固定資産売却損益(△は益)	—	134
売上債権の増減額(△は増加)	79,405	△389,385
棚卸資産の増減額(△は増加)	61,017	203,195
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3,863	53,127
仕入債務の増減額(△は減少)	△269,692	△279,247
契約負債の増減額(△は減少)	△73,825	△11,372
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,219	△11,968
その他	△21,353	△117,929
小計	28,229	△1,000,315
利息の受取額	179	28
賠償金の受取額	216	3,719
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△356,523	29,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	△327,897	△966,777
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△400,000	—
有価証券の償還による収入	400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△21,152	△6,851
無形固定資産の取得による支出	△5,768	△3,081
差入保証金の差入による支出	△102	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,023	△9,933
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△129,936	△131,230
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△129,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,936	△260,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△484,857	△1,237,203
現金及び現金同等物の期首残高	6,017,253	5,945,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,532,396	4,708,650

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生体評価 システム	ヘルスケア サポート	化粧品	健康補助 食品	機能性素材 開発	計		
売上高								
一時点で移転 される財	133,886	314,241	1,960,299	1,413,450	276,511	4,098,389	900	4,099,289
一定の期間に わたり移転さ れる財	124,550	—	—	—	—	124,550	—	124,550
顧客との契約 から生じる収益	258,436	314,241	1,960,299	1,413,450	276,511	4,222,939	900	4,223,839
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	258,436	314,241	1,960,299	1,413,450	276,511	4,222,939	900	4,223,839
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	2,547	2,547	△2,547	—
計	258,436	314,241	1,960,299	1,413,450	279,058	4,225,486	△1,647	4,223,839
セグメント利益 又は損失(△)	31,518	45,490	398,195	△17,884	42,700	500,018	△155,494	344,523

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額900千円は、非連結子会社からの経営指導料等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△155,494千円には、全社費用△183,094千円、セグメント間取引消去26,700千円等が含まれております。なお、全社費用は、主に当社の管理部門の費用等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生体評価 システム	ヘルスケア サポート	化粧品	健康補助 食品	機能性素材 開発	計		
売上高								
一時点で移転 される財	79,182	337,277	778,904	1,390,869	156,894	2,743,127	900	2,744,027
一定の期間に わたり移転さ れる財	96,358	—	—	—	—	96,358	—	96,358
顧客との契約 から生じる収益	175,540	337,277	778,904	1,390,869	156,894	2,839,485	900	2,840,385
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	175,540	337,277	778,904	1,390,869	156,894	2,839,485	900	2,840,385
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,868	7,999	10,868	△10,868	—
計	175,540	337,277	778,904	1,393,737	164,893	2,850,353	△9,968	2,840,385
セグメント利益 又は損失 (△)	1,311	42,678	△72,393	△269,700	△701	△298,805	△156,280	△455,085

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額900千円は、非連結子会社からの経営指導料等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△156,280千円には、全社費用△183,880千円、セグメント間取引消去26,700千円等が含まれております。なお、全社費用は、主に当社の管理部門の費用等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。